

平成31年度全国学力・学習状況調査における集計結果のお知らせ

平成31年4月18日に実施された6年生の全国学力・学習状況調査についての結果をまとめましたのでお知らせいたします。個人の結果を示す個人票につきましては、本日、6年生に配付いたしました。調査結果について、本校の概要をお知らせします。なお、学校では調査結果で見えてきた課題について検討し、今後の児童の指導へと生かしていきたいと存じます。

調査は、国語、算数の2教科と学習習慣・生活習慣に関して調査いたしました。

《教科に関する調査結果》

【平均正答率(%)】

◎調査結果から見る本校の特徴

算数において、全国の平均正答率に比べ、2.4ポイント高い状況が見られました。

	国語	算数
本校	62	69
全国との差	-1.8	+2.4
全国	63.8	66.6

【各教科における領域等の正答率】

教科	領域等	本校	全国(公立)
国語	話すこと・聞くこと	66.7	72.3
	書くこと	56.6	54.5
	読むこと	84.9	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	47.9	53.5
算数	数と計算	64.7	63.2
	量と測定	57.9	52.9
	図形	77.4	76.7
	数量関係	69.3	68.3

◎調査結果から見て特徴のある設問

全国の平均正答率との差が7ポイント以上あった主な設問は、次のとおりです。(ポイントは整数値)

国語

- ・「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」設問が13ポイント低い。
- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」設問が11ポイント低い。
- ・「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」設問が7ポイント高い。

算数

- ・「2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる」設問が12ポイント高い。
- ・「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる」設問で9ポイント高い。
- ・「示された除法の式の意味を理解している」の設問が11ポイント低い。
- ・「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる」の設問が7ポイント低い。

◆国語

- 「読むこと」「書くこと」に関しては、全国平均を上回っているので、さらに自信をつけていけるように支援していく。
- 「話すこと・聞くこと」「言語についての知識・理解」は、全国平均をやや下回っている。「話して伝えること」については、意欲が高いので、「話し手の意図を捉えながら聞くこと」について指導をしていく。また、「漢字を文の中で正しく使うこと」についても、指導していくようにする。

◆算数

- 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」のどの分野においても、全国平均を上回っている。
- グラフから資料の特徴や傾向を読み取ったり、図形の面積の求め方を考えて説明したりすることができる力が十分身に付いている。
- 「示された除法の式の意味を理解している」問題の正答率が特に低かったことから、「式」のもつ意味についての理解が不十分であることがわかる。「式」には、必ず意味があることを意識して立式していきけるように指導していく。

《生活習慣・学習習慣について》 ※数値は、肯定の回答率(%)

特徴的な項目	本校	全国
自分には、よいところがあると思いますか。	90.6	81.2
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	86.8	79.0
学校に行くのは楽しいと思いますか。	96.2	85.8
人が困っている時は、進んで助けていますか。	96.2	87.9
家で計画を立てて勉強をしていますか。	66.0	71.5
放課後1日当たり1時間以上勉強をする。(学習塾等で勉強している時間も含む。)	50.9	66.1
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。	81.2	68.6
授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか。	90.5	82.8
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	86.8	62.5
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか。	86.8	68.5
算数の勉強は好きですか。	83.0	68.6
算数の授業の内容はよく分かりますか。	92.4	83.5

◆質問紙調査結果から、特徴的な項目について全国平均と本校を比べて

- ・「人が困っている時は進んで助ける」児童が多く、友達と助け合うことで楽しく生活することができている。
- ・友達から認められることで「自分にはよいところがあると思う」という自己肯定感が高くなっている。
- ・放課後の学習時間が「2時間以上」の児童がいる一方、「1時間未満」「30分未満」の児童の割合が多く、学習時間に大きな開きが見られた。家で計画的に勉強する習慣がついていない児童がいる。中学校進学に向けて、自分から進んで計画的に勉強することの必要性に気付けるように支援していく。